

中学生の皆様へ

大阪府警察からのご案内～作文を募集しています

令和6年度 犯罪被害者支援 「大切な命を守る」 全国中学・高校生作文コンクール

【作品テーマ】

事件や事故等の犯罪被害について、「命大切さを学ぶ教室」を受講し、又は報道等により知り得たことなどを踏まえ、被害者の置かれる状況や心情を理解し寄り添うことの大切さについて触れつつ、大切な命を守り、被害者を生まず誰もが安全で安心して暮らせる社会を実現することに関して、自分の考えや意見等を表現した作品

【応募締切】

令和6年6月14日（金）必着

大阪府警察本部府民応接センター犯罪被害者等支援室支援第一係まで送付して下さい

社会全体で被害者を支え、
被害者を生まず誰もが安全で
安心して暮らせる社会
を目指そう

犯罪被害者等支援
シンボルマーク
ギョッとちゃん



令和5年度中学生の部受賞作品【国務大臣・国家公安委員会委員長賞】

「命」について考えた事、感じた事

（北海道）砂川市立砂川中学校 一年 久保 柚月

今回、命の大切さを学ぶ教室、講師の生井さんのお話を聞き、思い出すだけでも辛いはずなのに話を聞いていただき、とてもありがたく思っています。私がお話を聞いて一番最初に考えたことが「自分の家族だったらどうか」でした。生井さんの娘さんは、急に連絡が途絶え、家のまわりには娘さんのぼうしやおしつぶされたような靴があったそうです。警察に捜索願を出し、事故、事件性を視野に入れ、寒い冬の中外を探し、娘さんの遺体が見つかったそうです。生井さんは、遺体を確認できなかったとおっしゃっていました。私も、自分の家族かもしれない遺体を見るなんて、どうしても苦しくなると思います。娘さんの命をうばった犯人は、写真もあり色々な情報も分かっていたのに、時効になってしまい、結局犯人はつかまらなかったそうです。犯人を捜している間は、謝りながら大声で泣いていたり、自分を責めたり、犯人を恨んだり憎んだりしたとおっしゃっていました。自分を責める必要なんて少しもないのに。優しく、とても家族思いな人だと思いました。もしもこんなことが自分にも起こったらと想像するとすごく怖いし、私だったら時効になっても、見つけてなにもできなかったとしても死ぬまで犯人を探し、追い続けたいと思います。絶対に許さないと。

お話を聞いている間、私は「なぜ何も悪くない人が他人に幸せを、将来を奪われなければならないんだらう」と思いながら泣いてしまっていました。その人の人生はその人のもの。どう生きていくかはその人しか決められない。人生は誰かに邪魔をされたり、簡単に奪われたりするとは、絶対に許されないと私は思います。生井さんは私達に、「簡単に命を奪おうとしないで、考えて前に進んでほしい」と言ってくれました。その言葉を聞いて、命より簡単に奪えて、こんなにも重くて大切なものはないなと思いました。犯罪は時間が経つたびに人の記憶からうすれてしまうことが多いです。ですが、犯罪で誰かの未来が奪われてしまっていることだけは忘れないというのを、改めて思い知らされました。いつ誰が巻き込まれてもおかしくない犯罪。涙ながらにお話ししてくれていた生井さん。聞いていて、自分が今までどれだけ事故・事件に巻き込まれず幸せに生きられていたかというのを感じました。とても重くてなによりも大切にしなければならぬ、一つの命。今までもとても大切にしてきましたが、これからはもっとも大切にしてほしいと思います。そして、なにがあっても決して人の命を奪おうとは思いません。と心に誓いました。犯罪が少しずつでも減ることを、願っています。

